

ベストライズ赤平

高度クリーンゆめぴりかのご紹介



【基本情報】

部会名：JAたきかわベストライス赤平

品種：ゆめぴりか

栽培方法：高度クリーン米

農薬成分使用回数：5回以下

化学肥料使用回数：5kg/10a以下

整粒：80%以上

出荷可能数量：85俵

ベストライス 赤平について



山田会長

- 構成員 7戸 10名
- 作付品種 **ゆめぴりか**、ななつぼし、きたくりん
- 栽培方法 **高度クリーン米**、特別栽培米、農薬節減米
- 令和5年 作付内容
 - 高度クリーン米 ゆめぴりか 5 1.0 ha
 - ななつぼし 3.0 ha
 - きたくりん 5.3 ha

⇒半数以上の会員に後継者がおり、次世代の多い部会になります。



「高度クリーン米」とは？

⇒限られた生産者が限られた場所で、作業性や収量性よりも
純粹に「うまい！！」を追い求めて作った最高級の「米」。

～「高度クリーン米」栽培基準～

	高度クリーン米	特別栽培米	慣行栽培米
タンパク値目標	6.8%以下	7.9%以下（ゆめぴりか7.4%以下）	
整粒	80%以上	70%以上	
化学合成農薬 使用成分回数	5回以下	11回以下	22回以内
化学肥料使用量	5kg以下/10a	5kg以下/10a	10kg/10a

整粒80%以上の高級米

1等米の基準、整粒70%以上を更に上回る、整粒80%以上を条件として調製。
歩留りよりも食味にこだわった最高品質米です。

慣行品(整粒70%以上)



高度クリーン米(整粒80%以上)



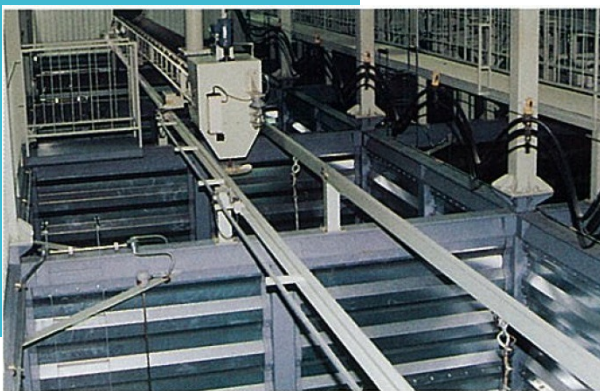
高精度な調製を可能にする 大規模施設

- ベストライス赤平のお米は、
全量JA大規模施設にて、
色彩選別機をはじめ複数の選別によって、
高精度の調製を実施しております。
- この調製施設にて、高整粒仕上げ、
品質の均一化を実現し、
皆様のお手元にお届け致します。

北の米蔵



原料貯留ビン



50ト×18基

色彩選別機



大ロット均質調製が可能な色彩選別機。

ベストライズ赤平の 取り組み

○環境保全型農業直接支払交付金の活用

⇒環境保全型農業直接支払交付金とは、
環境問題に対する日本をはじめ世界各国で関心が高まるなかで、
農業が環境に与える負荷を軽減し、地球温暖化防止や
生物多様性保全に積極的な貢献を行う事で受け取れる交付金です。

○具体的な取り組み

1. 化学肥料・化学農薬の使用量を都道府県の
慣行レベルより5割以上低減。
2. 化学農薬に頼らない耕種的防除の実施
(フェロモントラップを使用した発生予察の実施)
3. みどりのチェックシートに定める環境負荷低減の取り組み実施。



生産技術の向上と 平準化に向けた活動

- 最高級品質のお米を安定的に、
更には今より「うまい！！」を実現するために、
講習会・反省会を定期的実施しています。
品質が良いときも悪いときも、なぜこの品質になったのか
分析を欠かさず、安定供給を第一に日々実践しています。



「2回転育苗」について

第1回播種：4/25頃

第1回田植：5/15頃

⇒田植後、空いた苗箱をすぐに再利用。

ハウスの植え終わったスペースに苗を再度播種します。
5/20に種を播き直して6/10頃に再度田植え。

第2回播種：5/20頃

第2回田植：6/10頃

「密苗」でハウス使用量が1/3になっているところに、
「2回転育苗」を運用させることで、更に削減することができます。
⇒ビニールや苗箱、発芽させるための被覆資材などを
再利用することで、廃プラ削減を実現しています。

ハウスの2回転は令和3年から導入し、3年目の今年、実用化となりました。
通常、3~4週間の育苗日数が必要ですが、「2回転育苗」を
運用することで、最短で10日で植え付けが可能になる技術です。





鋤き込み前



鋤き込み後



鶏糞ペレット



稲わらの秋鋤き込みについて